



新座三中だより

学校教育目標

自ら学ぶ 心豊かに たくましく

新座市立第三中学校

令和4年8月29日

新座市池田1-1-1

TEL 048-479-4052

FAX 048-482-0133



大切なあなたへ

校長 和久井 功雄

もう一度、命の大切さを伝えたいと思います。「あなたという存在は奇跡の結晶です。」

天文学的な確率（男女が出会い夫婦になる確率、そして命の種ができる確率）で授かった命であるということ。また、世界の中には生きてくても生きられず、奪われてしまっている命があるということ。そして、自分のことを支え心配してくれている人があなたの周りにはいること。自分という人間が存在することがどれだけ奇跡であり、生きているというだけでどれだけ価値があり、一人一人が特別であるということ。だから、自分と他人を比べる必要はなく、あなたなりの良さに気付いて欲しい。

「あなたは、かけがえのないOnly oneです。」「自分を大切にしたい。」

そして、一人で抱え込んで悩まず、だれかに相談して欲しい。家族や友達、先生など、だれかに相談して欲しい。



「三中生の成長」

この夏、男子卓球部、男子バスケットボール部、男女ソフトテニス部、男女柔道部、水泳部、陸上部、相撲、テニスが県大会に出場しました。そして、関東大会に陸上部、水泳部、相撲が出場し、全国大会に陸上部が出場しました。また、吹奏楽部が南部地区の吹奏楽コンクールに出場しました（詳細は、裏面をご覧ください）。県大会など、上位の大会に進むことは簡単なことではありません。また、地区や市の大会で上位になることも簡単なことではありません。三中生はそんな成長を遂げています。しかし、順位や結果が全てではないことは、分かっていることで、生徒たちも過程が大事だと日々指導されています。

なぜ、過程が大事と言われるのか。それは、結果は過程の積み重ねであり、結果に至るまでの過程における経験が力になるということだと思います。結果を変えるには、これまでとは違う過程が必要だということです。生徒たちには、過程で学んだことを生かし、次のステップへ繋げて欲しいと思います。

三中生が自分の可能性に気づき伸ばすことができるように、一人一人の良さを見つけ、褒め、励ましていきたいです。1番でなくていい、自分にとって得意とするものや自信を持てるものに気づいて欲しい。「あのときの、先生の声かけが励みになり、きっかけになりました。」「あのときの一言が、支えになっています。」などと言ってくれるような、そんな関わり方ができたら、教師として最高の幸せです。2学期も教職員一丸となり、三中生一人一人の可能性を見出し、伸ばすために取り組んで参りますので、皆様の御支援、御協力をお願いいたします。

～ 経験や体験から学ぶ、価値ある失敗を大切にくりトライ～

「自分の良さを伸ばす」

子供に自分の良さに気付いてもらうにはどうすれば良いのでしょうか。いつ、どうやって気付くのでしょうか。一つのことをとことん突き詰める、または、いろいろなことに挑戦する。様々な方法があると思います。幼い頃からやっていた、小学校から、中学校から、大学で…など様々でしょう。また、親の勧めで始めた、兄弟がやっていた、友だちの紹介、先生から勧められた…など、これも人によって違うでしょう。でも、そこには共通していることがあると思います。それは、自分の良いところ、可能性を認めて褒めてもらった。ということだと思います。人との比較ではなく、1番になったからではなく、ただ褒めてもらったことだと思います。そして自分の良さを伸ばすことができる人の共通点は、小さなことをこつこつと積み上げる努力ができる、それを支える環境がある（逆境も環境のひとつでしょう）。ということだと思います。活躍する、しないではなく、自分のよさに気づき、それを伸ばす努力をすることで自分に自信を持って欲しいと思います。